

岩手県ブラックアンドホワイトショウ

本町出品牛がダブルW受賞 グランドチャンピオン

5月2日、岩手県ホルスタイン改良同志会が主催する2024岩手県ブラックアンドホワイトショウがJA全農いわて中央家畜市場（雫石町）で開催され、本町から19頭が出品されました。

県内から集まった全74頭で競い合った結果、各部門の上位から選ばれるグランドチャンピオンには、未經産牛では第3部の(株)GRFホルスタインズ（折元大樹代表取締役／遠矢場）が選ばれました。また、経産牛では漆真下恵さん（大沢）が選ばれ、4月21日に本町で行われた県北ブラックアンドホワイトショウに続く未經産牛、経産牛のダブル受賞となりました。



①未經産牛の部グランドチャンピオン（(株)GRFホルスタインズ出品）
②経産牛のグランドチャンピオン（漆真下恵さん出品）③大会上位の皆さんと主催者

■本町の入賞者（敬称略）★グランドチャンピオン

【未經産牛の部】

- ▶中村大地（第1部第1席）
- ▶(株)GRFホルスタインズ（第3部第1席）★
- ▶岩泉篤（第3部第3席）
- ▶村澤由明（第5部第1席）
- ▶葛巻町乳牛改良同志会（第11部第1席）

【経産牛の部】

- ▶中村大地（第6部第3席）
- ▶中六角保広（第7部第1席）
- ▶(株)GRFホルスタインズ（第7部第3席）
- ▶漆真下恵（第8部第1席）★
- ▶(株)Peace Valley Dalry（第9部第2席）
- ▶葛巻町乳牛改良同志会（第11部第1席）



祝百寿 瀧渡マツエさんが100歳に



家族や親戚に囲まれて記念撮影

長生きの秘訣を尋ねると「のんびりと日々を過ごすこと」と笑顔で話してくれました。100歳を迎えたこの日はお祝いの会に集まった家族や親戚に囲まれ、皆さん一人一人と楽しそうに言葉交わしていました。

5月1日、瀧渡マツエさん（吉ヶ沢）が100歳の誕生日を迎え、鈴木重男町長は家族の皆さんが企画したお祝いの会を訪問し、祝い状と祝い金、花束を贈りました。マツエさんは大正13年生まれ。現在は自宅で長男夫婦、孫夫婦、ひ孫の4世代7人で生活しています。昔から活発な性格で、かつてはよくゲートボールをしたり、外出掛けたりしていたそうです。現在もデイサービスへ行っては元気にゲームを楽しんでいるそうです。



花束を手に笑顔のマツエさん

第25回葛巻町植樹祭

環境保全を次の時代に



記念の標柱を建立した主催者と来賓の皆さん



△レンゲツツジの苗木を協力して植える児童
△鍬で力いっぱい穴を掘る児童

第25回町植樹祭（町産業振興協会主催）は5月11日、くずまき高原牧場で行われ、町内の小学生や企業、業関係者など約200人が参加しました。開会式で鈴木重男町長は「子どもから大人まで一緒に活動し、先人が取り組んできた環境保全活動を次の時代まで永続していきましょう」とあいさつしました。参加者は牧場内にある町森林公園に移動し、レンゲツツジ200本を植樹。坂本輝季さん（小屋瀬小5年）は「植樹祭で少しでも木を植えて自然を守ることが大切だと学びました」と話しました。

能登半島地震 町職員が能登町で支援活動 応援派遣

1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援するため、農林環境エネルギー課の折本誠農政振興室長が石川県能登町に派遣されました。

派遣期間は4月22日から29日の8日間で、他県からの派遣職員とともに被害住家の調査活動を行いました。折本室長は「事前に資料で学習をしていたが、実際の調査では被害程度区分の判断が難しかった。被災地の復旧はまだ先だと感じ、業務以外の部分でも引き続き支援できればと思う」と被災地での活動を振り返りました。



△調査結果をまとめる作業を行う各県の派遣職員
△被害住家の調査を行う折本室長

地域の医療を支えます

葛巻病院第2内科長
佐々木 太雅さん
（滝沢市出身／29歳）



新たに葛巻病院の第2内科長として着任した佐々木太雅医師は、呼吸器内科が専門。葛巻病院はコンパクトで風通しがよいと感じているとのこと。動物が好きで、プライベートではくずまき高原牧場などで動物と触れ合いたいと話します。

葛巻病院では「適切な診断、治療はもちろん、患者さんに満足してもらえるよう、一人一人に寄り添った医療を目指したい」と抱負を述べました。